

特色ある
バザー

「おやじの会」大活躍！ 青葉小PTAバザー



霧島市立青葉小学校PTA会長 黒江 純一

PTA活動等の紹介

本校は、霧島市国分の北部に位置し、北に高千穂の峰、南に桜島を遠望できる創立21年目の中規模校です。児童数は386人、P戸数288戸です。青葉小の名は、若くして源平の戦いで命を落とした笛の名手平敦盛が愛用していた「青葉の笛」に由来します。「青葉」の名には、「伸び伸びとした若々しさ」「ゆとりある豊かな情操」「伝統と将来性」の思いが込められています。

PTAバザー紹介

母親9人で構成され、運動会の緑門作り、門松作り、環境整備など、幅広く活動し、この活動が国分中学校へと引き継がれています。

開校当初は、「青葉マーケット」としてスタートしました。事業部・総務部を中心に行っていたが、「おやじの会」が全面的に協力（平成14年度から）しています。収益金は、購買部やベルマーク収益金等と合わせて学校図書館の電算化に使ったり、毎年10万円の図書購入費、冷水機の購入などに充てられたりしています。

PTA活動も開校当初から活発で、八つの活動部とPTA役員に分かれ、一人一役として活動しています。年2回のリサイクル活動・愛校作業、PTAバザー、教育講演会、教職員歓送迎会など多くの活動を実施しています。特にベルマーク等の収集、朝の読み聞かせ活動が特色です。また、「おやじの会」は、現在父親22人、

店（うどん、フランクフルトなど）、リサイクル品販売、フリーマーケット、おやじの会出店（焼き餅販売、お化け屋敷、抽選会、5年生が作った無農薬米販売などです。年々趣向を凝らし、これまでに、コンサートや健康チェックなども実施してきました。リサイクル品やフリーマーケットは、地域住民へも呼びかけて協力してもらっています。

児童数の減少によってリサイクル品が集まらなくなったり、バザーへの参加者が減ったりして収益が下がってきていることが課題で、現在集客のためにいろいろ仕掛け

をしています。



「おやじの会」のお化け屋敷



バザーの最後にある「お楽しみ抽選会」

特色あるバザー

来て、見て、楽しい 「伊集院小PTAバザー」の取組

日置市立伊集院小学校



フランクフルト販売



提供品販売

本校は、日置市の東部に位置し、四方を小高い丘に囲まれた盆地で、冬は厳しい寒さを感じるときがあります。また、鹿児島市に近く、宅地開発が進み、児童数も年々増加しており、885人、職員数55人の大規模校です。P戸数は、643戸です。今年で創立147年を迎え、妙円寺詣り等の行事にもPTA活動として参加する歴史と伝統のある学校です。

本校のPTA組織は、五つの専門部からなり、今年度から各専門部長を5人の副会長が補佐・支援する体制へ改善したため、より連携しやすくなっています。今回は、事業部の活動である「PTAバザー」について紹介します。

「PTAバザー」は、毎年11月末に実施し、多くの来場者で賑わいます。開催当日に向けて、

年間4回のバザー委員会（部会）、前売り券販売、提供品の仕分け作業などの準備を行っています。出店ブースは、うどんやパンなどの飲食ブースと提供品販売で、運営については、各学年で担当しています。引継ぎマニュアルを作成し、各ブースの設置写真を載せ、反省を元に次年度への改善案等も記入するなど工夫・改善を行っています。

また、前売り券販売では、事業部経験者へボランティア依頼を行い、券の販売当日に子ども便で前売り券を渡せるように配慮しています。来客数増加への取組としては、金管バンドが青空演奏会を行って会場の雰囲気盛り上げたり、自治会に案内ちらしの回覧依頼を行ったりしています。

今後の活動充実に向けての課題については、出展内容を固定化して、引

き継ぎマニュアルの内容も、見直し等を行い、魅力あるPTAバザーとなるよう、工夫・改善していきたいです。
(教頭 小城 孝洋)